

日本におけるデジタル化の状況

G584172025 安藤 駿

2025 年 6 月 30 日

1 ブロードバンドの整備状況

OECD によるブロードバンド回線の普及に関する [1] によると、図 1 に示すように、日本における 100 人あたりのモバイルブロードバンドの加入者は 190.5 で、第 1 位になっている。2 位はエストニアで、3 位米国と続く。

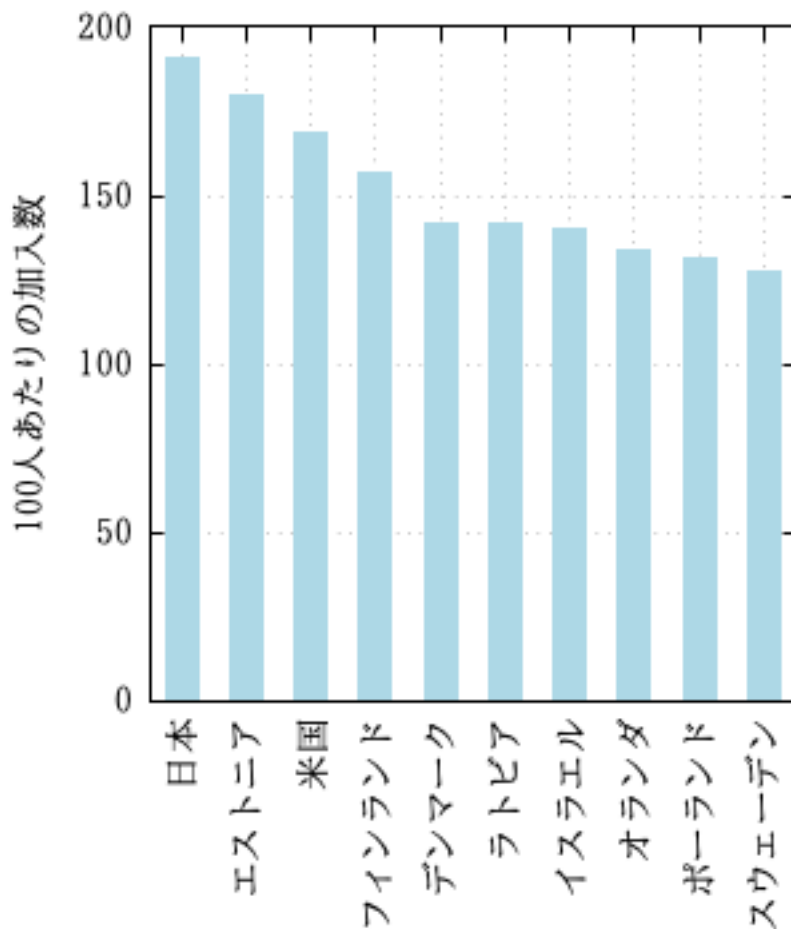


図 1: 光ファイバー回線の加入者 (100 人あたり)

2 デジタル競争力ランキング

国際経営開発研究所 (IMD) の調査 [2] によると、表 1 に示すように、日本のデジタル競争力ランキングは調査対象の 64 カ国中、総合で 28 位、知識分野で 25 位になっている。

表 1: デジタル競争力ランキング (64 カ国中)

国	総合	知識
米国	1 位	3 位
香港	2 位	5 位
スウェーデン	3 位	2 位
デンマーク	4 位	8 位
シンガポール	5 位	4 位
韓国	12 位	15 位
中国	15 位	6 位
日本	28 位	25 位

3 考察

- デジタル競争力ランキングは総合は 28 位で知識は 25 位となっており、デジタル化を推進するには、知識の強化が必要である
- ブローバンドの普及では上位だがデジタル競争力は遅れをとっているので日本の強みと弱みを明確にし、戦略的に取り組む必要がある
- インフラ整備をただするのではなく、デジタル技術を高めていくことも課題だと思う

参考文献

- [1] OECD. Broadband Portal. <https://www.oecd.org/digital/broadband/broadband-statistics/>, 2022.
- [2] IMD. IMD world digital competitiveness ranking. <https://www.imd.org/centers/world-competitiveness-center/rankings/world-digital-competitiveness/>, 2021.